



3月2日(日)に恵美須町の西方寺であるもちつきに参加するこぼお～。
みんなでおいしいおもちを作るこぼお～。今から楽しみなんだこぼお～

柳川市マスコットキャラクター「こぼりー」



大人形の周りを8の字に回る地元の人たち

8の字に回って厄を人形へ

両開下八丁地区「龍神宮わら大人形祭」

両開下八丁地区にある龍神宮で2月1日、地域の伝統行事わら大人形祭が行われました。この行事は、今から約180年前にこの地域で疫病が流行し、祈禱師が病気を大人形にうつして海に流すと治るといったことが始まり。祭り当日の午前中に高さ約2.5mの男女の大人形をわらで作り、神社の鳥居に設置。午後の神事後、地域の人たちが大人形の周りを8の字に回って大人形に厄をうつし、今年の無病息災を祈りました。

紅茶のおいしさ再発見

市中央公民館講座「おいしい紅茶の淹れ方」

市は毎年、中央公民館講座を開講しています。1月28日は、沖端商店街の紅茶の店RiverFlowで、受講生11人がおいしい紅茶の淹れ方を学びました。店長の高田好美さんが、くみたての水を沸騰させたお湯を使うことや、茶葉の大きさを蒸らす時間が違うことなど、紅茶をおいしく淹れるコツを伝授。教えてもらった通りに淹れた受講生は「自宅で飲むよりおいしく、色がきれいで香りも良い。早速実践してみます」と話しました。



自分で淹れたおいしい紅茶に受講生も笑顔

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

色鮮やかなさげもんがお出迎え

さげもん展示即売会



きれいなさげもんを楽しむ来場者

市地域婦人会連絡協議会と市シルバー人材センター合同のさげもん展示即売会が1月25日と26日、市民体育館で催されました。2月11日から始まった「柳川雛祭り・さげもんめぐり」に先立って行われるこの即売会。会場には、会員が丹精こめて作った色鮮やかなさげもん約500さげや、柳川まり、人形などの小物2000点が所狭しと並べられました。子どもや孫の初節句にさげもんを飾ろうと、会場は会員と一緒に品定めする家族連れなどで大いににぎわいました。

プロ野球選手らが児童に手ほどき

柳川商工会議所青年部「少年野球教室」

柳川商工会議所青年部は1月19日、少年野球教室を市民三橋グラウンドで開催しました。教室には市内外の少年野球チームから154人が参加。プロ野球ソフトバンクホークスの長谷川勇也選手や、柴原洋さん、浜名千広さんら元プロ野球選手の7人の講師陣が、ポジション別に野球少年たちを指導しました。昨年、パ・リーグ首位打者に輝いた長谷川選手からバッティングの指導を受けた中島小学校4年の岩熊晃大くんは、「教えてもらったことを今後の練習に生かしたい」と話しました。



昨年の首位打者、長谷川選手から指導を受ける児童

パリッとしておいしかったよ

新のり4000袋を小学校の学校給食へ提供

福岡有明海漁業協同組合連合会は1月31日、有明海で採れたおいしいのりを地元の小学生に味わってほしいと、市内の小学校全19校に新のり約4000袋を提供しました。2月6日の「海苔の日」にちなんでこの取り組みも、今年で3回目。同連合会の西田晴征会長や地元漁協の組合長らは、両開小学校のランチルームで全児童151人と一緒に給食を楽しみました。給食の時間が始まると、児童はさっそく袋から新のりを出して、そのまま食べたり、ご飯を包んで食べたりして舌鼓を打ちました。



児童は「とってもおいしい」と新のりをパクリ

俳句

今月の入選作品・課題「竜の玉」他

応募総数100句

掌から掌へまろぶ光や竜の玉

古賀幸子(横山町)

竜の玉瞬間天に登りけり

森フチエ(弥四郎町)

竜の玉表舞台に立てぬとも

山田美代子(下宮永町)

竜の玉探せば久し夢の色

梅崎三和子(田脇)

竜の玉転げし色の鮮やかさ

藤吉トシ子(佃町)

しゃがみ見る人に優しき竜の玉

森永孝英(七ツ家)

願ひごと無きが幸せ初詣

高崎登美雄(岡)

水琴の音の流れに竜の玉

大城靖子(隅町)

光陰の刻む音なし蠅牛

古賀 強(吉原)

今生の今が倅せ龍の玉

榊尾法子(七ツ家)

蛇穴を出てたしかむる西東

樽見一枝(蒲生)

春の音まだ遠かりし竜の玉

古賀治美(南浜武)

神殿に歴史を統べる竜の玉

徳永エツ子(徳益)

竜の玉屋敷の崩れ守りをりし

田中位緒枝(豊原)

懐かしや遊び道具の竜の玉

中原由美(新船津町)

竜の玉夜明けの空の色秘めて

大橋弘茂(百町)

数ふるを忘れてだいこ洗ひけり

後藤正毅(金納)

竜の玉日差しやはらか川ほとり

池田美幸(柳町)

神の域裸で競う竜の玉

金子伊織(徳益)

◆選者の句
母に似て控え目なりし竜の玉

鬼郎

俳句を募集しています。選者は大曲鬼郎さん。3月の課題は「三季雑詠」です。入選作品は3月15日号に掲載します。

●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX74・5520)へ、2月28日(※必着)までにお送りください。